

小川俳句会

=11月例会=

歌で身の心痛と冬劍
初霜や残る夕日の練を盡し
諒翠に触れしややかに
村なかに銀杏葉の杜とびる
時雨あるひしき一筋高み
一とききががやき増して銀杏散る

田口 光景

足のべて友と語らふ銀小春
草野点々子

細枝に寒柏割れて空葉かも
時雨雲ぬれ緑までも稻ほぶ

山茶花味噌豆煮いる外かまじ
干物を取込めばやむ時雨かな

黒井はづみ
後ろより響て来りし落葉焚き
山茶花の香りの外かまじ

田輪の雲ゆく迅き時雨来る
鈴木好子

冬隣り岩手秋田の農境
白鳥の訛すべらす林檎売り

紅葉被る藍の十和田湖生む神話
高萩 正子

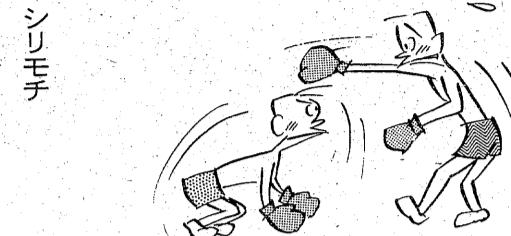
良き湯にひとときしたけ冬の夜のぞ
きつとのめの音子を待ついつ 松崎 肇

五つまで乳房さぐりし一人子の童心に残
る母の面影 吉田 潮舟

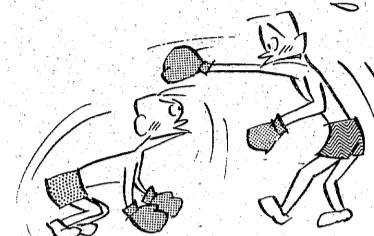
陽のあたる庭山茶花に蝶迷ひ
ややもに日を洗ませて紅葉暮る
月にしがみ蝶羽たどりそよぐ寒

お父ちゃんのモチ談議

シリモチ



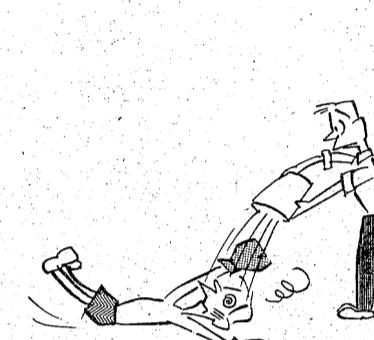
力ガミモチ



トリモチ



カケモチ



我いわき 演劇苦多

日下部政一
山名浜玉川

- 1 落葉掃除へぐつくりし納豆の「母」は
はの味いまも忘れない味 伊藤寒子
2 汽車の旅いとし子抱く母見では若かりし
日々をなつかよ居り 草野紫陽女
3 何もいらない家へれるだけにてよと言
ふ会ふたび老の深みゆく母 吉田節子
4 黒鳴りの娘、かいねだる夜真福を抱さへ
廻りし母の恋しき 太平姫
5 母の碑にすがり呼びついしかに眠り
しわが背を雪降りつつむ 鈴木惠美
6 嫁ぎた子の底護受けるわれ故に和を大
切にひつと守ぐ 飛岡柚化女
7 趣味もなく働くだけの生涯のつとめ果し
て逝ける継母 萩原秀子
8 良き湯にひとときしたけ冬の夜のぞ
きつとのめの音子を待ついつ 松崎肇
9 五つまで乳房さぐりし一人子の童心に残
る母の面影 吉田潮舟

寸評

今月は御題「母」にらなんで初めての願詠
だが、それぞれの母の想い出がよくまとまら
れていると思。

①は納豆の味に母想い ②は汽車の旅で
昔をなつかしみ ③は母の言葉そのままを詠
み ④は今日の佳作だ ⑤だれでも経験した母の
愛情 ⑥童女の日の哀しい追憶が涙ぐもし
い ⑦句目堅いので「子と共に住む」では
どうが ⑧平板すぎた ⑨母としての想いや
りがよい ⑩哀しい想い出だ ⑪説明がぐど
すぎる ⑫重点をはつきり想みたい ⑬福祉
関係の人らしい作品だ。

(湖舟記)

カット・森谷秀雄

若松
中田 医院
内科・小児科
三浦正男

皮膚科

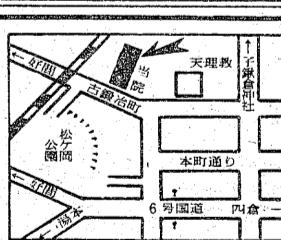
三浦皮膚科医院

いわき市平字材木町
(堂ノ前遊園地隣)
電(042)424-4747

産婦人科
内・胃腸科
婦人科
額賀大
医師
中田幸子
平三小
至南白土
至夏井
至西倉
バス・四倉五丁自下電
八三九番付・32
四九六〇病室
広野分院
広野町慶協裏
電(03)3097
いわき市平字材木町
電(042)3097

産婦人科
中田 医院
内科・小児科
若松寿彦
平三小
至南白土
至夏井
至西倉
バス・四倉五丁自下電
八三九番付・32
四九六〇病室
広野分院
広野町慶協裏
電(03)3097
いわき市平字材木町
電(042)3097

森田産婦人科
麻酔科
院長 森田恒之
いわき市平北白土字勝木町7 電(042)23-3541・夜21-2339



山尾内胃腸科医院
内科・胃腸科・循環器科・放射線科
入院設備あり 院長 山尾昭二
いわき市平字古鍛冶町120番3 TEL(042)2120

佐藤産婦人科医院
院長 佐藤隆滋
いわき市平字小太郎町N-H27-27
入院応需

野崎整形外科
院長 野崎隆滋
いわき市常磐湯本町三國(元山形屋)電(042)2133

山崎産婦人科医院
院長 山崎正義
いわき市常磐湯本町三國(元山形屋)電(042)2133

長橋病院
法人
精神科・神経科・内科
院長 鈴木将夫
いわき市常磐湯本町三國(元山形屋)電(042)2133

このたび移転しました!
明雲堂眼鏡科医院
平コンタクトレンズセンター
明雲堂眼鏡科医院
平コンタクトレンズセンター
明雲堂眼鏡科医院
平・正月町18番(042)2669

